

令和2年度 青葉区障害者自立支援協議会 取組状況

○実施状況

会議	年間実施 予定回数	主な内容・議題等（簡潔に記載してください）
(1) 全体協議会 (青葉区高齢者障害者 地域会議)	1回	開催を中止し、書面開催とした。 高齢・障害分野それぞれの活動状況について資料を送付するとともに、各委員が所属する団体等において、今般のコロナ禍で工夫して活動した内容などについてアンケート調査を実施し、意見を取りまとめて情報共有を行った。
(2) 実務者ネットワーク会議 (サポネットあおばの つどい)	1回	障害者の権利擁護や顔の見えるネットワークづくりの観点から、以下のテーマを掲げて実施 『障害分野と高齢分野との連携の在り方～地域の取り組みに学ぶ～』 大沢広陵地区、国見地区の取り組み状況や、地域包括支援センター、相談事業所などがどのようなきっかけで連携するようになったかなどを講演いただき情報交換を行った。
(3) 障害者相談支援事業所等連絡会議	10回	重点的に関わる対象者に対して継続的な支援が展開され、相談支援の強化が図られるよう、専門機関も交え、個別課題の抽出、解決方法等の意見交換を行った。
(4) 精神保健福祉部会	4回	「支援者のための振り返りシート（仮）」の作成に向け、内容や活用方法等に関する意見交換を行った。完成予定のシートは精神保健福祉領域に特化せずに利用されることを想定しており、様々な支援者の資質向上に寄与することが期待される。今後のシートの周知について、整理・検討等を行った。
(5) 地域課題整理ワーキング	3回	対象地区を絞り、地域で行われている会議等に参加し、その地域の支援者との関係性構築を通して「重点的に関わる対象者」への支援につながる地域の強みや課題を把握できるか検証した。
(6) 運営会議	12回	各会議体の進捗管理や地域生活支援拠点モデル事業の運用について検討、情報交換等を行った。

1 今年度の主な取組み

○障害者相談支援事業所等連絡会議（以下、連絡会）

毎回、事例検討を行う重点的に関わる対象者のケースを1件取り上げ、困難ケースの背景にある要因を分析し、課題の共有化を図るとともに、事例検討以外の重点的に関わる対象者についても共有シートを活用してフィードバックしていった。

○精神保健福祉部会

昨年度の部会で、「継続した医療と支援の実現のためのアセスメントシート（仮）」を作成し、今年度、この試作版の内容について吟味し、「支援者のための振り返りシート」として完成した。

○実務者ネットワーク会議（以下、つどい）

開催予定だった6月は中止し、青葉区障害者自立支援協議会の令和元年度の活動方向及び令和2年度のスケジュールを関係団体に送付した。

11月に仙台市障害者自立支援協議会でもテーマとなっている高齢分野との連携を取り上げ、地域包括支援センターとの連携事例を講演いただいた。それにより、障害者、高齢者の支援者間で共有できたほか、参加者からは勉強になったとの意見が多く寄せられた。

2 現状における課題（地域ニーズや課題、協議会運営上の課題など）

連絡会にて事例検討や共有シートに基づく情報交換等を行うことで、理解を深め、解決に向けた個別支援が図ることができるケースが現れ、一定の効果があつた。その一方で、重点的に関わる対象者はサービスに乗りにくいことから、サービス利用を前提とした指定特定相談支援事業所からの参加は低調であり、区全体で意義や目的を共有できるようにすることが課題である。

つどいのアンケートで当事者の講演は好評であるが、テーマに関する意見は多岐にわたっており、「重点的に関わる対象者とならないための体制づくり」につながるように、参加者の興味を引き、支援者の役に立つ内容の企画が求められている。

地域課題ワーキングを通じて、「重点的に関わる対象者」に支援が届くための体制作りには、障害のある方にかかわらず、すでに地域にある、地域になじみがある仕組みの活用が有効であると考えられる。その仕組みの中にどのようにして障害のある方への支援のエッセンスを加えていき、支援の共有を積み重ねていくかが課題である。

3 課題に対する次年度以降の取組予定

重点的に関わる対象者へ効果的な支援の届く体制作りに向け、引き続き下記の3段階に分けた体制整備を念頭に各会議体の運用に臨む。

第一次体制…重点的に関わる対象者とならないための体制作り

第二次体制…重点的に関わる対象者が早期に支援機関につながるための体制作り

第三次体制…重点的に関わる対象者が適切かつ継続的な支援を受けることができる体制作り

令和2年度 宮城野区障害者自立支援協議会 取組状況

○実施状況

会議	年間実施予定回数	主な内容・議題等（簡潔に記載してください）
(1) 全体協議会	1回	<p>H30年度より区地域ケア会議と合同開催。今年度はコロナ禍で感染拡大防止のため書面開催とした。委員との意見交換は第1層コーディネーターとも連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区地域ケア会議，区障害者自立支援協議会の活動報告 ・感染対策に留意した形（電話等）による委員との意見交換
(2) 実務者ネットワーク会議	1回	<p>① 全体会（1回） 仙台市健康福祉局総務課と宮城野障害者福祉センターより講話 テーマ：災害に備えよう 支援体制と連携を考える～福祉避難所～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部 「福祉避難所について」 ・第2部 「東日本大震災時における障害者福祉センターの福祉避難所開設状況と運営について」 <p>※地域に対してはダイジェストを用いて内容や自立協の取り組みについて共有。</p> <p>② エリア会（区内3エリア 鶴ヶ谷，幸町，岩切・高砂）</p> <p>コロナ禍で各エリアごとの大規模・集団の研修等は実施を見合わせたが，自立協全体として「福祉避難所について」「グループホームについての情報共有・情報収集（グループホーム連絡会との連携）」の2点に取り組んだ。</p> <p>また，各地区ごとに開催された地域包括支援センターの情報交換会や担当圏域包括ケア会議等に参加し，高齢分野との連携を図り，地区情報の把握を継続した。</p>
(3) 障害者相談支援事業所等連絡会議	9回	<p>R1年度より，偶数月と奇数月で内容を分けて開催。4-6月は休止。7月より時間を短縮し再開。</p> <p>【奇数月】グループスーパービジョン，相談傾向や地域課題の共有</p> <p>7月にグループスーパービジョンについての研修会を開催し，参加者間で共通理解を図った上で実施した。</p> <p>【偶数月】ケースレビュー/事例検討，相談傾向や地域課題の共有</p> <p>各機関より，新規ケース，地域生活支援拠点の対象ケース，困難ケース，経過報告や情報共有したいケースについて報告した。</p> <p>【毎月】相談傾向や地域課題の共有</p> <p>今年度書面で実施。運営メンバーで分析も行った。また，仙台市グループホーム連絡会の協力を得て，市内のGHを対象にアンケートを実施した。GHの特性や支援内容等について情報集約し今後の支援に活用する。</p>
(4) プロジェクトチーム	回	なし
(5) 運営会議	12回	<p>感染対策に留意し休止せず継続した。</p> <p>各会議体の進捗管理，課題解決に向けて区自立支援協議会全体の活動の検討</p>

1 今年度の主な取組み

(1) 実務者ネットワーク会議エリア会（区内3エリア 鶴ヶ谷, 幸町, 岩切・高砂）

コロナ禍での動きについては経年で話し合いを実施。新型コロナウイルス感染症の影響により、接触を避ける感染拡大防止対策を重視し、比較的年配の方が多く集まる機会のある研修等の開催は見合わせた。代替案として、自立支援協議会としてできることを考え、以前からの地域課題の2つを取り上げて実務者ネットワーク会議において「福祉避難所について」「グループホームについての情報共有・情報収集（グループホーム連絡会との連携）」の2点に取り組んだ。

各地区ごとに開催された地域包括支援センターの情報交換会や担当圏域包括ケア会議等に参加し、民児協や町内会の活動等について、地区情報の把握を継続。次年度に向けての話し合い・準備を継続している。

(2) 実務者ネットワーク会議全体会

今年度は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から前年度の計画通りの動きは難しく大きな方向修正を余儀なくされた。しかし、その中でも「今、宮城野区自立支援協議会としてできること」を考え研修会の開催実施となった。内容については、多発する自然災害に備え災害時におけるツールを知る機会を設け、支援者を対象とし福祉避難所をテーマとした研修を計画し実施することが出来た。共通する課題として、地域包括支援センターにも周知、参加に至った。

福祉避難所について、開設する側からの体験をもとにした話を聞く事が出来、また地域に暮らす一人一人が支援者も含め「平時の時こそ備蓄・避難場所・環境整備などについて備えておく事」の重要性を再認識する機会となった。感染防止の観点から地域の方など広く参加の呼びかけが出来なかったが、ダイジェストを用いて自立支援協議会の取り組みについて周知する。

(3) 障害者相談支援事業所等連絡会議（GSV、ケースレビュー・事例検討は表面に記載）

・相談傾向の共有と地域課題の抽出（主な相談傾向や課題は下記の通り）

障害をもつ方の家族の高齢化、多問題家族の支援、家族支援、多機関連携の他、今年度の特徴として新型コロナウイルス感染症による影響があった。新しい生活への適応の難しさや、感染症やその予防についての理解の難しさ、外出制限や施設通所が在宅作業になることによる生活リズムの崩れ等、生活や心身への影響、経済面など影響は多岐に渡っている。

・地域課題解決に向けた取り組み（グループホームのマッチング）

仙台市グループホーム連絡会の協力を得て、市内のグループホームを対象にアンケートを実施した。それぞれのグループホームの特性や支援内容等について情報を集約し、今後の利用者支援に活用していく。今回の取り組みを通して、仙台市グループホーム連絡会とのつながりを持つことができたことも大きな成果である。コロナ禍で延期となっているが、情報交換会の開催も計画している。

2 現状における課題（地域ニーズや課題、協議会運営上の課題など）

・令和3年度についても、感染防止対策に配慮しつつ今まで構築した地域や支援者とのネットワークを途絶えさせないよう活動していく必要がある。

・高齢分野等の障害分野以外の機関との連携を深めるための取り組みの継続が必要である。

・連絡会議については、指定特定相談支援事業所の参加や、各機関の様々な職員の参加については昨年度以前からの課題となっている。最近の状況としては、感染対策として参加を見合わせる事業所も出てきている。できる対策は行い、周知や情報共有は継続し、気軽に参加できる場として開き続けていく。

3 課題に対する次年度以降の取組予定

第1層コーディネーター、基幹相談支援センターが今年度より参画しているため、それぞれの強みを生かしつつ関係者間で協力の上、次年度も取り組みを実施。コロナ禍での事業展開には引き続き工夫が必要。

令和2年度 若林区障害者自立支援協議会 取組状況

○実施状況

会議	年間実施 予定回数	主な内容・議題等（簡潔に記載してください）
(1) 全体協議会	0回	<p>話題提供「障害・高齢分野における連携への取り組み～8050 問題のある事例を通して感じたこと～」とグループワークを行う予定で R3 年 1 月 13 日の開催に向け準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。</p> <p>8050 問題に関する各委員の取組状況を伺うアンケートをすでに実施しており、結果を元にニュースレターを作成し、委員や関係機関に配布予定。</p>
(2) 実務者ネットワーク会議	0回	<p>対象を障害者支援従事者初任者層とし、ネットワーク形成や日頃の悩みの解消等を目指すグループワークを行う予定で、R3 年 2 月 16 日の開催に向け準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。</p> <p>開催に替えて、対象者宛に日頃の悩み等に関するアンケートを実施予定。結果は、各事業所にフィードバックする、次年度の実務者ネットワーク会議に活かす等を想定している。</p>
(3) 障害者相談支援事業所等連絡会議	9回	<p>4～6 月は中止。「学齢期から成人期への移行期の支援の現状と課題」をテーマとした事例分析、グループワーク、地域包括支援センター連絡会議との合同会議等。</p>
(4) チームプロジェクト	0回	<p>若林区民ふるさとまつりでの普及啓発活動</p> <p>まつり自体が中止となり、活動なし。</p>
(5) 運営会議	10回	<p>5～6 月は中止。上記各活動の企画・運営に関する検討、市協議会等の関連会議に関する報告等。</p>

1 今年度の主な取組み

【障害者相談支援事業所等連絡会議】

昨年度から取り組んでいる「サービス移行期の支援の在り方」の検討について、今年度は特に「学齢期から成人期への移行期」に焦点を当て、その時期の支援の現状と課題をテーマとした事例分析を積み重ねた。毎月1事例ずつ、「事例報告～個人ワーク～グループワーク～全体シェアリング」の流れで、その事例の課題の背景や要因を分析。年度末には、複数事例に共通するような支援上の課題は何かを整理・抽出し、課題に対する解決策のアイディア出しや、解決に向けた具体的な方策の検討を行った。

他、フリートークにてコロナ禍における各機関の体制や工夫していることの情報交換、地域生活支援拠点の稼働状況に関する情報提供、地域包括支援センター連絡会議と合同で「ゴミ屋敷への支援」をテーマとした精神障害に関する勉強会と連携促進に向けたグループワーク等を実施。

【実務者ネットワーク会議】

昨年度に引き続き、初任者層職員を支えるために必要な体制作りを目的とし、働いてみて感じる悩みの吐きだしや共感、先輩からのコメント等の内容で会議を行う予定であった。会議開催に替えて、電子申請システムを活用したアンケート調査を行い、初任者層職員が抱えている悩み等を把握する予定。なお、検討の初期段階では、昨年度と同様、学齢期から成人期への移行期の支援に関する課題の抽出や支援者間ネットワーク形成を目指した、中堅層以上職員と学校教員とのグループワークも並行して行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、検討途中段階で断念することとなった。

【全体協議会（IGASU 会議）】

高齢・障害分野に共通する支援課題として「8050 問題」を取り上げ、準備にあたり委員にアンケートを実施し、各委員がどのような取り組みを行っているのか情報収集を行った。本来であれば、そのアンケート結果や話題提供の内容（地域包括支援センターと障害者相談支援事業所が連携して支援した世帯について、どのように支援体制を構築していったのか）をもとに、日ごろの活動に生かせるような具体的な連携を考えるグループワークを実施する予定であった。会議開催には至らなかったものの、アンケートから見えた8050問題に関わる各機関の取組状況について、取材等も行いながらニュースレターにまとめ、各委員にフィードバックする予定。

なお、本会議のテーマを包括圏域会議にて取り上げ、障害者相談支援事業所の職員も招き、地域住民と検討する地域包括支援センターもあり、会議体の3層構造の連動や、多機関連携の体制ができつつあることを感じている。

2 現状における課題（地域ニーズや課題、協議会運営上の課題など）

学齢期から成人期への移行期における支援上の課題の一つとして、ライフステージが変わり支援者が変わっていく中での情報の引継ぎや連携の難しさが共通課題として見えてきた。特に、教育分野との情報共有には難しさがある状況。また、高齢分野との連携は今後も必要であり、既存の会議等の機会をとらえて顔の見える関係作りを継続していく必要がある。

3 課題に対する次年度以降の取組予定

移行期における支援上の課題を解決するためのアイディア出しを行ったため、それをもとに次年度の取組を検討していく予定。高齢分野との連携については、全体協議会等の既存の会議をとらえて仕掛けていく。新型コロナウイルス感染症予防と両立しながら、可能な範囲でネットワーク形成や支援力向上に取り組んでいけると良い。

令和 2 年度 太白区障害者自立支援協議会 取組状況

○実施状況

会議	年間実施 予定回数	主な内容・議題等（簡潔に記載してください）
(1) 全体協議会	1 回	令和 3 年 3 月上旬を目途に、書面開催予定。 アンケート調査を行い、人と人とのつながり支援の現状と今後の取組みについて把握し、各機関や団体と共有する。
(2) 実務者ネットワーク会議	10 回	●区内 3 エリアに分かれて開催 今年度から各エリア会に関して、担当となる委託相談支援事業所を定め、区の各エリア担当と協働して取り組むこととした。障害や高齢分野の関係機関が集まり、個別ケース相談や地域情報の共有を図った。
(3) 障害者相談支援事業所等連絡会議	7 回	●ケースレビュー 令和元年度にレビューで取り上げたケースについて、進捗状況などの共有を行った。そのほか、高齢分野との連携が必要なケースについてレビューを行い、現状や課題を話し合った。 ●指定相談支援事業所との連携に関する協議 協働支援をより推進していくために、指定相談支援事業所の取組み状況などを把握し、つながるきっかけ作りなどを検討した。
(4) チームプロジェクト	なし	
(5) 運営会議	8 回	委託相談支援事業所、南部アーチル、基幹相談支援センター、健康増進センター、太白区社会福祉協議会(今年度から)、はあとぼーと仙台、秋保総合支所、区で月 1 回を目安に実施。相談支援事業所連絡会議の運営に関する協議、各エリア会の取組み状況などを共有し、今後の取組みの方針を決定している。
その他の活動		
太白地域丸ごと相談事業	3 回	●2 か所の地域で今年度から実施 社会福祉協議会太白区事務所、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、区が連携して、地域課題の解決に向け展開。西中田地域では、住民向け相談会を開催。その中で、住民の困りごとや家族関係等に関して相談に応じて、情報提供や継続相談を行った。愛宕橋地域では、社会資源発掘を目的とした愛宕橋文化祭を企画し、R3 年度の開催を目指し、実行委員会を町内会や民生委員等の地域関係者で行った。

1 今年度の主な取組み

(1) 実務者ネットワーク会議について

- ・各エリア会（なごやかネット、すりいはんず、ふれあいネット）に関して、担当となる委託相談支援事業所を次のように定め、区障害高齢課とともに取り組んだ。
なごやかネット：サポートはぎ、すりいはんず：ハンズ太白、ふれあいネット：向日葵ライフサポートセンター
- ・各エリア会において、地域のつながりを作っていくことを目標に、既に支援ネットワークが組まれており、導入が見込まれやすい地区から取り組むこととした。具体的には、地域サロン活動において、障害・高齢分野が連携した取組みを既に行っている地区にスポットをあてた。

※今年度は、感染症予防の観点から、サロン活動が中止になることが多かった。

(2) 障害者相談支援事業所連絡会議について

- ・ケースレビューについては、昨年度のレビューで取り上げたケースの進捗状況の共有を行った。そのほか、新規のケースレビューや高齢分野との連携が必要なケースについてレビューを行い、現状や課題を話し合った。今後は、障害者虐待や両親が高齢になり問題が顕在化した家庭等テーマを定めてレビューを行い、その中から抽出される課題や解決案等を話し合うことも検討している。
- ・指定相談支援事業所との円滑な連携を促進するために、指定相談支援事業所の取組み状況などを委託相談支援事業所が現地に赴いて聞き取り調査等を行った。指定相談支援事業所の現状を把握し、実情に即した協働のあり方を検討することとしている。

(3) 太白地域丸ごと相談事業について

- ・西中田地域では、社会福祉協議会太白区事務所、西中田地域包括支援センター、向日葵ライフサポートセンター、区で住民向け相談会を行い、住民の困りごとや家族関係などに関して相談に応じた。その中で、情報提供を行ったり、相談内容や状況に応じて継続相談につないだ。
- ・愛宕橋地域では、社会資源発掘を目的とした愛宕橋文化祭を企画した。R3年度の開催を目指し、実行委員会を社会福祉協議会太白区事務所、愛宕橋地域包括支援センター、サポートはぎ、区及び町内会や民生委員等の地域関係者と行った。

2 現状における課題（地域ニーズや課題、協議会運営上の課題など）

太白区自立支援協議会運営メンバーは、地域に出向き各関係機関と連携した取組みを行っている。他方、感染症予防の観点から実際に集まって人と人がつながることが少なくなっているため、社会情勢に応じた連携を検討していくことが今後必要となる。

各支援機関同士の連携をより促すために、持続的で実行可能な協働のあり方の検討が必要となる。最初の段階としては、協働支援実践（ケースのアセスメントや具体的介入等）に更に取組みながら、互いの考え方や支援スタイルを共有することから始まると考えられる。

3 課題に対する次年度以降の取組予定

- ・地域とのつながりを推進していくために、スポットをあてた障害・高齢分野が連携している地区へのアプローチを続け、ネットワーク形成を図る。
- ・協働支援実践を行いつつ、ケースレビューを継続実施する。また、高齢・障害分野合同の事例検討会も開催予定。

令和2年度 泉区障害者自立支援協議会 取組状況

○実施状況

会議	年間実施 予定回数	主な内容・議題等（簡潔に記載してください）																								
(1) 全体協議会	1回	R3.1.14 予定していたが、新型コロナウイルス流行状況を鑑みて紙面開催とし、発表内容の一部をDVD収録し委員へ配付した。																								
(2) 実務者ネットワーク会議	3回	<p>新型コロナウイルス感染症の流行により大幅に予定変更。会場もディスタンスが十分確保できる会場へ変更し、各回申込制・感染対策を徹底し実施。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">4月</td> <td style="text-align: center;">中止</td> <td style="text-align: center;">10月</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5月</td> <td style="text-align: center;">中止</td> <td style="text-align: center;">11月</td> <td style="text-align: center;">座談会</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6月</td> <td style="text-align: center;">中止</td> <td style="text-align: center;">12月</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7月</td> <td style="text-align: center;">座談会</td> <td style="text-align: center;">1月</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8月</td> <td style="text-align: center;">中止</td> <td style="text-align: center;">2月</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9月</td> <td style="text-align: center;">座談会</td> <td style="text-align: center;">3月</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> </table>	4月	中止	10月	中止	5月	中止	11月	座談会	6月	中止	12月	中止	7月	座談会	1月	中止	8月	中止	2月	中止	9月	座談会	3月	中止
4月	中止	10月	中止																							
5月	中止	11月	座談会																							
6月	中止	12月	中止																							
7月	座談会	1月	中止																							
8月	中止	2月	中止																							
9月	座談会	3月	中止																							
(3) 障害者相談支援事業所等連絡会議	9回	<p>実務者ネットワーク会議と同様、大幅に計画変更。R2.4は新型コロナウイルスにより中止したが、担当事業所よりショートステイの受け入れ情報など集約したものを参加機関と共有し補完を行った。</p> <p>「コロナ禍だからこそ顔を合わせ情報共有したい」との意見ありR2.5～再開し概ね毎月実施（R2.4, R2.8, R3.1は中止）。内容は以下。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体からの支援状況・近況の報告、支援上の課題の情報共有。 ・困難・成功事例の共有と困難事例検討 ・相談支援上の課題や勉強会等スキルアップを図るため、相談支援事業所（委託、指定特定）及び区障害高齢課に参加者を絞り連絡会を開催（3回） ・オンライン会議を開催予定（R3.2月）等 																								
(4) プロジェクトチーム	0回	実績なし																								
(5) 運営会議	12回※	各会議体での進捗管理、地域生活支援拠点レビュー、基幹相談支援センターとの協働状況の共有等。部会等の報告。※R3.1のみ新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑みて紙面開催とした。																								
その他の活動		特になし																								

1 今年度の主な取組み

1. 障害福祉分野への広報活動を強化

- ・実務者ネットワーク会議の取り組みを通じた広報活動。
- ・地区民生委員児童委員への参加・挨拶は新型コロナウイルスにより中止。
- ・地区民児協勉強会に委託相談支援事業所が講師として参加し、地域包括支援センター主催の包括圏域会議参加時には自立協や相談支援事業所への相談を周知した。

2. 参加機関の支援力の向上・スキルアップ

- ・コロナ禍での各事業所の業務の取組方や困りごと等を共有。
- ・連絡会議にて事例検討や、お互いに立案したサービス等利用計画案を持ち寄り意見交換を実施。

3. 泉区内の支援課題の把握・整理

- ・困難事例を持ち寄り、事例の蓄積を行った。

2 現状における課題（地域ニーズや課題、協議会運営上の課題など）

- ・地域生活支援拠点については、ひなたぼっこ職員も含めてレビューを実施し、その後は支援について運営会議内で毎月進捗確認を行った。
- ・より参加者のスキルアップが図れる事例検討の方法について、検討が必要。
- ・市や他区協議会との連動・連携強化は今後も検討課題である。
- ・相談支援事業所等連絡会における、指定特定相談支援事業所の参加率があがらない。

3 課題に対する次年度以降の取組予定

- ・現在、運営会議にて次年度の取り組みを検討中。個別ケースの地域生活により還元でき、今ある課題の解決に繋がるような活動を行っていく。
- ・今年度は新型コロナウイルスにより大幅な計画変更を余儀なくされた。今後も流行の予測が難しいことから、オンライン開催の検討も行っていく必要がある。また、相談支援事業所によっては事業所の方針として参加できない機関もあることから、欠席者へのフォローアップをどう行っていくかが課題である。